

編集委員会からのお知らせ

日本公衆衛生雑誌
編集委員長
西 信 雄

会員の皆様には、平素より本誌の発行に多大なご協力をいただき感謝申し上げます。おかげさまで最近では投稿論文数が増加し、各号に5編の論文を掲載できるようになってきました。本稿では、再投稿までの期間の変更と分割出版への対応についてご紹介します。

1. 再投稿までの期間の変更

編集委員会では審査日数を全体的に短縮するため、様々な改善をしてまいりました。査読コメントについても全般的なコメントと個別のコメントに分けて記載し、著者に改訂いただきたい点を明確にするよう支援的な査読に努めています。

これまで投稿規定には「返送から6か月以上経過した場合は、投稿取り下げとみなす。」という記載がありました。ここでの「返送」というのは、郵便で原稿をやりとりしていた時代の名残と考えられます。オンライン投稿・査読システムを導入している現在、返送の時間は省略されていることから、このたび再投稿までの期間を3か月とするよう投稿規定を改定しました。この変更については、すでに4月1日から実施しています。

著者の皆様には早めの再投稿をお願いするとともに、編集委員会としても引き続き迅速な審査に努めてまいります。

2. 分割出版への対応

分割出版はサラミ出版とも呼ばれ、1つの研究を複数の小研究に分割して細切れに出版することを指します¹⁾。分割出版は業績の水増しになるだけでなく、全体としての研究意義の把握がしにくくなり、他の科学者に無用な手間をかけることにもなるため、不適切な発表方法と考えられています。本誌でもそのような事例が最近2件ほどありましたので、会員の皆様と共有したいと思います。

1件目は、すでに本誌に採用され掲載予定となっている論文に続けて、同じ調査のデータを用いて、分析対象および分析方法が類似の論文が投稿されたものです。担当編集委員の意見をもとに編集委員会で議論した結果、これら2編の論文は基本的に同じリサーチクエスションに関するものと考えられたため、2編目の論文を不採用としました。

2件目は、同一対象、同一方法を用いた生活習慣調査のデータをもとに、個々の生活習慣に関する2編の論文を同著者グループが同時期に投稿してきたものです。生活習慣は異なるもののリサーチクエスションが相互に関連すると考えられたため非受理とし、1編の論文として再投稿することは妨げないことを著者に連絡しました。

本誌は公衆衛生全般を取り扱う雑誌であり、いずれのケースも2編の論文が本誌に投稿されたことから編集委員会で議論し、分割出版の恐れがあると判断したうえで不採用または非受理の決定をいたしました。この記事を契機に、会員の皆様にも分割出版、ひいては研究倫理について認識を高めていただければと思います。

今後も、会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしています。

文 献

- 1) 日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会. 科学の健全な発展のために— 誠実な科学者の心得—, 2015, 東京. <https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf> (2020年3月9日アクセス可能).

